

F-REIの最近の動き (2024年1月～)

福島国際研究教育機構

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き
(2023年12月～)」から2024年1月分のみ浪江町役場で抜
粋しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

F-REI設立後の出来事（2023年12月以降）

（2023年）

11月26日～12月1日	国際アドバイザーとの意見交換を実施	2
12月1日	第15回F-REIトップセミナーの開催（磐城高校）	3
12月4日	市町村座談会の開催（大熊町）	4
12月7日	第16回F-REIトップセミナーの開催（原町高校）	5
12月19日	市町村座談会の開催（相馬市）	6
12月26日	F-REI説明会の実施（県北・相双地区）	7

（2024年）

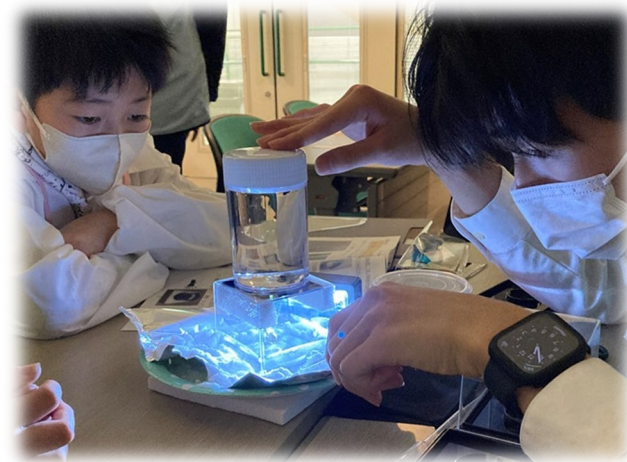
1月 8日	エフレイ・サイエンスラボ（体験講座）の開催	8
1月12日	第2回新産業創出等研究開発協議会の開催	9
1月12日	F-REIロゴマーク最優秀作品の発表について	10
1月18日	市町村座談会の開催（川俣町）	11
1月25日	株式会社東邦銀行との包括連携協力協定書の締結	12
1月30日	市町村座談会の開催（双葉町）	13

令和6年1月8日（月・祝） エフレイ・サイエンスラボ（体験講座）の開催

1月8日、エフレイ・サイエンスラボ「放射線をさがせ」
（体験講座）をいわき市で開催しました。

この体験講座は、エフレイによる地域の未来を担う若者
世代の人材育成の取組の一環として、開催したものです。

当日は、10名の小学生と保護者にご参加いただき、4
名の高専生（福島高専）の指導の下で、放射線計測
器を用いて身の回りのもの（食品、塩、肥料など）に含
まれる天然の放射性物質から出る放射線を計測しました。
また、霧箱による放射線可視化の実験では、高専生が
事前に霧が発生する条件やコツを自ら考えた上で小学
生の指導にあたり、参加した小学生全員が霧箱で放射
線の通った跡を実際に見ることができ、小学生からは歓
声が上がっていました。



令和6年1月12日（金） 第2回新産業創出等研究開発協議会の開催

1月12日、第2回新産業創出等研究開発協議会を富岡町で開催しました。

協議会には、F-REI、復興庁、福島県、研究機関、関係機関、浜通り地域等15市町村の35の構成員が参画しています。

会議では、平木大作復興副大臣にもご臨席いただき、F-REIの活動状況、各ワーキンググループの開催内容についてF-REIから、令和6年度予算概算決定及び施設整備の状況について復興庁から報告した後、市町村座談会等を通じて得られた課題等について、構成員による活発な意見交換が行われました。



令和6年1月12日（金） F-REIロゴマーク最優秀作品の発表について

F-REIのロゴマークの募集は、昨年4月21日から6月30日の期間にかけて行われ、全国125名の方からの応募があり、有識者による委員で構成される審査委員会や、一般からの意見募集等を踏まえ、高橋 絢香（たかはし あやか）さんのデザインを最優秀作品として決定しました。

F-REIのロゴマーク最優秀作品の決定に伴い、1月12日、富岡町文化交流センター 学びの森において、表彰式を開催し、表彰状の授与やロゴマークの紹介、記念撮影等を取り行いました。



F-REI

福島国際研究教育機構



令和6年1月18日（木） 市町村座談会の開催（川俣町）

1月18日、第14回目となる市町村座談会を川俣町で実施いたしました。

座談会に先立ち、ベルグ福島株式会社とアサヒ通信株式会社を訪問し、視察及び意見交換を行ったほか、座談会では、立地企業の方々、地域で活躍されているの方々にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。



令和6年1月25日（木） 株式会社東邦銀行との包括連携協力協定書の締結

1月25日、株式会社東邦銀行とF-REIとの連携協力に関する協定書を締結しました。

今後、この協定に基づいて、互恵的な連携協力を進め、F-REIの認知度向上、地元企業とのネットワーク構築、研究成果の社会実装などを推進してまいります。



令和6年1月30日（火） 市町村座談会の開催（双葉町）

1月30日、第15回目となる市町村座談会を双葉町で実施いたしました。

今回は、株式会社アルメディア、株式会社WorldLink & Company、浅野撚糸株式会社を訪問し、視察及び意見交換を行いました。

今回が、今年度計画していた浜通り地域等15市町村での座談会の締めくりとなりました。



世界に冠たる 「創造的復興の中核拠点」へ